

第5回 奈井江町まちづくり町民委員会 議事録（要旨）

【日 時】 平成 28 年 10 月 4 日（火） 午後 6 時 00 分～午後 8 時 00 分

【場 所】 役場 3 階 大会議室

【出席者】 委員～14 名（欠席 1 名） 町～12 名

委員	太田裕治	○	中村尚子	○	山口俊哉	○	佐々木修	○	橋本ミエ	○
	萬 由美子	○	長屋高史	○	東藤勝行	○	梅本てる子	○	田尻 弘	○
	三原 新	○	佐々木美香	×	河原 唯	○	田口友子	○	福塚智美	○
町	北町長、相澤副町長、小澤課長、大津課長、松本課長、池上主幹、鈴木係長 事務局：馬場課長、谷口係長、井内主査、菊地主査、吉田主事									

1. 開会 馬場課長

第 5 回奈井江町まちづくり町民委員会を定刻になりましたので只今より開催させていただきます。開会にあたりまして太田委員長のご挨拶をお願いします。

2. 委員長あいさつ

前は 8 月 23 日が予定でしたが、ご承知のとおり、奈井江町も類漏れず豪雨で産業まつりも中止になったほどの大変な雨の中、奈井江町も若干の被害があったということもお聞きしておりますが、人的被害もなく無事に乗り越えられたことに対し、行政のみなさんも大変なご苦労があったのかなと思いますし、敬意を表したいと思えます。一昔前であれば 2 回ほど非常に大きな水害の中で奈井江もそういった経験がある中でそういうのを乗り越えて英知のもとにこういった豪雨の対策が出来ているのかなと安心するところでございます。

また、同時に新聞にも出ているように、ないえ温泉が残念な形であると思えますが、奈井江にとっては少し寂しい記事も載っていますが、今後の第 6 期まちづくり計画の検証を含め、未来志向として今後の在り方について活発な意見を、久しぶりですので、みなさん思い切って発言していただけたらなと思えます。短い時間でグループワークもありますが、ぜひとも活発な意見交換をお願いしたいと思えます。本日はよろしく願いいたします。

3. 町長 あいさつ（資料 1 町政運営等に関する主な動向を兼ねて）

日頃より町政の推進にご協力をいただきましてありがとうございます。本日は、お仕事でお疲れのところお集まりをいただき、重ねてお礼を申し上げます。また、皆さんには、今お話にございましたように、台風来襲の非常事態とはいえ、急な日程変更をお願いしたことにつきまして、冒頭、お詫びを申し上げたいと存じます。

早速ですが、前回の委員会以降の町政運営の主な点について、申し上げます。

はじめに、9月25日から30日にかけて、お馴染みになりましたハウスヤルビ町よりトルティーラ教育長を団長に大人3名と高校生2名が訪問されました。今回は、奈井江町が取り組む保健・医療・福祉・教育について施設見学、議会との意見交換、企業の視察、授業体験など交流をいたしました。昨年、リヒマキ、ロッピーとの協議で「市町村合併を選択しない」となり、その経過や、今の状況を教えていただいたほか、議会との懇談では、サロネン福祉課長より、「健康、福祉に係るフィンランドの地方自治体改革」と題し、国民のニーズにあったサービスを提供するための、今後の進め方についてなどの話をしていただきました。2人のお子さんは、平成26年にフィンランドに訪問した際お世話になったお宅で、短い時間でしたが、ホームステイをし、再会を楽しんでおりました。みなさん、大変よい経験ができたと言っていただき、また再会できることを楽しみに帰町されました。両町の交流が密にできたと感じております。

さて、新しいえ温泉ですが、新聞報道等でご存じかと思いますが、新しいえ温泉の休業に関する事についてですが、9月23日に(株)新しいえ温泉の社長より休館を考えているとの意向が示され、町としては、建物の使用賃借契約の期間10年間の途中でもあることから残りの1年半の期間を引き続き温泉施設を運営するよう求めましたが、26日、温泉玄関に張り紙があり、「当分の間、休業する」と、「今後の運営の為に内部検討会を開催し、決定する」との告知がなされました。28日には、破産管財人である札幌の弁護士より、破産手続きが開始されたことが通知され、その後、温泉玄関に破産手続きの告知文書が張り出されている状況です。町といたしましては、住民のニーズに沿い、議会と十分に話し合っただけで今後、施設をどうするのかの議論を慎重に進めて参りたいと考えております。

大雨災害状況ですが、台風9号等、8月の大雨災害の状況について申し上げますが、前線の活発な動きに加え、台風11号、9号が連続して北海道上空を通過した影響等により、20日に記録をした1時間あたり46ミリの豪雨を始め、17日～23日にかけての長雨により、町内の総雨量が330ミリを記録しております。町といたしましては、20日の時点で災害対策本部を立ち上げ、刻々と変わる気象状況や河川の水位について、気象庁、国土交通省の情報を入手しながら、24時間体制で町内の警戒、土のう設置などの対策に当たって参りました。この結果、水稻の倒伏やハウスの浸水など、一部の農家に農業被害が発生し、心からお見舞い申し上げますところではありますが、おかげさまで、災害対策として最優先される人的被害はなく、床下浸水については1件という状況となっています。このあと、災害復旧に一定の目途が立ちましたら、この度の防災対応について改めて検証を行い、今後の対策に役立てて参りたいと考えております。

8月20日、21日と開催を予定しておりました「産業まつり」については、たいへん残念ではありましたが大雨により中止になりました。一方、花火大会については、8月

25日に改めて開催がなされ、公民館 駐車場に多くの観覧者が集まる中、第50回の記念大会として約2千発の花火が打ち上げられ、盛会に実施された所であります。

水稲の状況についてですが、大雨災害の影響を心配いたしましたですが、刈取り前の北海道の作況指数は「やや良」と発表されており、天候にも恵まれ、稲刈りは順調に進んでいるところです。今後の良い出来秋を願っております。

8月12日から9月7日まで、町政懇談会を開催し、各地区で住民の方と、町政運営やまちづくりに関することなどについて、大変多くのご意見・質問などをいただきました。今後、意見を整理し、できるだけ町政に反映して参りたいと考えております。

今年度、新規事業になりますが、「屋根の雪下ろし助成事業」をいたします。高齢者等への支援として、管内で助成を実施しているところもあり、今後、町内でさらに高齢化が進む中、必要な支援であると認識しております。

本日の、グループワークで担当より詳細な説明をさせますが、皆さんから、忌憚のないご意見等を頂きたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

さて昨年、「第6期 まちづくり計画」がスタートし、住宅施策をはじめ、18歳までの医療費の無料化や認定こども園において第3子以降の無料化などの子育て支援、保健・医療・福祉・教育、そして商業の振興、包括的施策の中で、定住促進への取り組みを進めて参りました。更には、まちのホームページの全面改訂を行い、情報発信の強化にも努め、この結果、例年50人規模で減少していた社会的増減が、9人減に留まるなど、若い世帯の定着も含め、町民や委員の皆さんと議論を重ね 創り上げた「まちづくり計画」の取り組みが 確実に実を結んでおり、私としても心から嬉しく思う所でございます。

また本年度は、「奈井江版の地方創生 総合戦略」を策定し、町外からの移住も含め、健康づくりを通じ、生きがいを持った生活ができるよう、病院内に「サービス付き高齢者向け住宅」16室、定員25名を開設する準備を進めております。10月広報や新聞折込で周知をしておりますが、今月から申請受付をし、12月中旬から入居開始をする予定となっております。昨日から随分多くの人から問い合わせがあり、次から次へと入居の手続きを取っているところでございます。皆様からのご協力を心からお願い申し上げます。

全ての町民が生涯を通じて、健康で自立した生活を送ることができる「地域づくり」を目指した「奈井江版C C R C（生涯活躍のまち構想）」を28年度中に策定し、構想の実現に向けた取り組みを推進して参ります。

本日のグループワークでは、「屋根の雪下ろし事業」と合わせ、「第6期前期計画」の検証、見直しのため、意見を頂き、「後期計画」に向け効率的、効果的な事業展開をして参りたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

以上、本日もよろしくお願いいたします。

4. 議 題

(1) 奈井江町屋根雪下ろし事業について【資料2 池上主幹】

資料2により説明

(2) 第6期まちづくり計画の検証について【資料3 馬場課長】

資料3により説明

「第6期まちづくり計画前期実施計画」『安心して住みつつけるため』の3ページ

(1) 住みやすい住環境の充実から7ページ (3) 安全・安心な道路環境の整備までを
大津課長・谷口係長より説明

事務局よりグループワークの内容、編成、会場、集合時間を説明。

グループワーク意見の報告

事務局よりグループワーク終了後、Aグループ・Bグループの主な意見を報告。

・屋根雪下ろしの助成事業について、助成対象となる世帯の条件をもう少し緩和できないか。若い人でも屋根に登ると怪我する人も多いので、条件を緩和してほしい。身障1・2級となっているが、もう少し緩めることはできないか。もう少し助成金の上限を下げてもいいので、まずは業者さんに頼む人を増やすことが必要なのでは。除雪の業者さんをどこに頼めばいいのかわからないのでワンストップ窓口のようなものがあればいいのでは。

・まち計の検証について、住みやすい住環境でいうと、今年行ったお試し移住について、1件実際に奈井江に定住に繋がったというのは評価するが、もう少し多く見込んでいたのではないかと。その1件、実際に住んだ人の口コミ等を利用して今後広めてはどうか。
・奈井江は除雪が良いというのが近隣でも評判が良く有名になっている。「奈井江といえば！?→屋根雪を下してもらえる」というようなインパクトのある施策を打ち出して定住に繋げてはどうか。奈井江商業高校の支援だとか住宅支援はここ最近ではすごく良い事業だと思うので、それに負けないくらいのインパクトのあるような事業を打ち出し

て定住つなげては。

・住宅支援の中の公営住宅について、民間住宅に住んで家賃助成はあるが、子どもが増えると公営住宅を利用したいが、空きがなかったり空いていてもボイラーは自分で設置して、網戸もないと、設備に最初住む時にお金がかかる。そういう部分についてはその分家賃に転嫁してもいいので最初から設備を充実させてもらえたら住む人はいるのでは。

・公園の整備について、公園の数自体は変わっていないのかもしれないが、昔に比べて使えない遊具があったり、ゴミやたばこが落ちているのが目についたりして少し残念だ。

・公共交通機関について、向ヶ丘線は昨年 10 月から路線一部見直してみなクルに途中で立ち寄るようにしたというのは町民の中から好評だという声をいただいている。乗りあいタクシーについても便利で使っているという声を聞く。乗りあいタクシーについても 1 回使っただければ便利だということがわかると思うので、なるべく登録してもらって 1 回でも使ってもらえたらいいのでは。

・屋根雪下ろしの助成事業について、北町の公営住宅などで屋根の雪と地面の雪とがくっついている状況などを見て、手伝ってあげなければならないと思うくらいの部分もあったのでこのような制度ができることは良いことだと思う。

・8月17日から下旬にかけて台風の影響で14号のアンダーパスが冠水したことにすぐびっくりしたと、新しいアンダーパスだったのにどうしてなのだろうと原因などを話した。想定以上の短時間の集中豪雨で、かんがい溝がボックスカルバートになってしまったり、歩道に木製チップあり、それが目詰まりしてしまって14号の釜屋電機のあたりから全部14号自体が川になったような状態でアンダーパスに水が溜まってしまったというような話をさせてもらった。委員の方からは防災に強いまちづくりというのを次回、後期の計画に入れて欲しいという意見をいただいた。町としても道路の整備や各地で進んでいる水田の土地改良などで用水の流れが変わってきているということがあり、またここまでの豪雨が平成3年以降なかったということもあり大変勉強になった。

・公園の整備について、公共施設総合管理計画ということでいろんな施設をどのように維持・改善・改修していくべきかと計画を進めているところだが、遊具もどういう整備をしていくかを聞きたいということだった。今現在座るベンチもなくなってしまった公園もあるということで、少しでも休めるようなベンチくらい置いてほしいという意見や日常の公園管理はどうなっているのかという質問があった。現在はトイレがある大きな

公園は業者委託によって毎日巡回している状況だが、他はパトロールが足りないといった反省点もあるという話をした。

・旧消防庁舎と北町の雇用促進住宅が今使用・利用されていない状況なのでとても気になる。旧消防庁舎をどのように使っていいだとか、イベントで使っていいだとか、PRや商工会等へ説明を打診してほしい。

・公共交通について、現在利用者数はどうなっているのかという話から、向ヶ丘地区で走っている向ヶ丘線については限界集落になっているのでそこで乗る人が亡くなってしまったりすると利用者数は減少傾向にあるという話をした。

・町長の話にもあつたないえ温泉の閉鎖の影響も出るのかなと思っている。市街地循環線について、実際に使っている方がもっと使いやすいような、町全体の利便性や利用率のアップを目指すのではなく、今使っている方がもっとというような視点を持って運行の効率化、利用率のアップを目指すべきではないか。

(委員長)

今の意見のまとめでAグループはBグループ、BグループはAグループに対して、こんなのはどうだったのだろうというのがありますか。なかなか言いづらいだろうと思いますが、とりあえずはよろしいですか。せっかくグループワークでこういう風な意見を出していただいたので、まちづくり町民委員会の代表として是非、町側にはやれるべきことをきちんとやってほしいし、できることはこの意見をきちんと反映していただきたいということを結ばせていただきたいと思います。また同時に、せっかくの屋根雪下ろしや住民の足になる公共交通、また、地域の防災の形も含めて、大事なことは町民に向けてのきちんとしたPRだと思います。そういったことは積極的に、今まで以上に積極的にPR・広報活動をどしどしやっていただいて住民の周知を図っていただきたいなと思います。

それでは本日は8時まで皆さん一生懸命やっていただきまして感謝申し上げます。第5回まちづくり町民委員会をこれで終わらせていただきます。次回の予定はどうなっていますか。

(谷口係長)

11月下旬、12月の議会前に計画しております。

(委員長)

ということは来月ですね。大変お疲れ様でした。本日はどうもありがとうございました。